

生 存 圈 研 究



No. 10

2014 年



京都大学 生存圏研究所



「生存圏研究」は、京都大学生存圏研究所がその活動と生存圏の研究に関する報告を行うことを目的として年一回発行する紀要です。本第10号は、平成25年度の成果を基に発行します。生存圏の研究に関心を持たれる機関や研究者に広く行き渡るよう無料で配布しています。お問い合わせは当研究所までお寄せ下さい（〒611-0011宇治市五ヶ庄、電話番号0774-38-3346、E-mail: edit-j-journal@rish.kyoto-u.ac.jp）。

編集委員

阿部賢太郎	上地 恭子	岸本 芳昌
日下部利佳	杉山 淳司	反町 始
高橋けんし	馬場 啓一	古本 淳一

目 次

総説

電波は生存圏を救う	1
	篠原 真毅
末端リグニン分解菌と位置づけられる微生物	9
	渡邊 崇人
木材から燃料電池用材料をつくる	17
	畑 俊充
災害に立ち向かう先端大気観測とその社会還元	23
	古本 淳一, 東 邦昭
生存圏科学の新領域開拓	29
★共同利用	
MUレーダー / 赤道大気レーダー全国国際共同利用	57
電波科学計算機実験装置 (KDK) 全国国際共同利用	67
METLAB全国国際共同利用	73
木質材料実験棟全国国際共同利用	79
居住圏劣化生物飼育棟/生活・森林圏シミュレーションフィールド全国国際共同利用	87
持続可能生存圏開拓診断 (DASH)/ 森林バイオマス評価分析システム (FBAS) 全国国際共同利用	93
先進素材開発解析システム全国国際共同利用	101
生存圏データベース全国国際共同利用	107
生存圏学際萌芽研究センター	113
研究業績	167

生存圏研究 第10号

発行日	平成26年11月20日
編集兼発行者	京都大学 生存圏研究所 京都府宇治市五ヶ庄
印刷所	株式会社 田中プリント 京都市下京区松原通藪屋町東入